

■ 害虫アザミウマ類の有望な土着天敵カブリダニを探して

高知県内では、促成ピーマン、促成ナスを中心に天敵類を利用した栽培への取り組みが進みつつあります。これらの圃場では土着のカブリダニ類が発生し、アザミウマ類を捕食している姿も観察されています。そこで、天敵として有望な土着のカブリダニ類を探すために、現地での発生状況とアザミウマ類に対する捕食量などを調査しました。

発生の確認されたカブリダニ類は発生頻度の高い順に、ヘヤカブリダニ（以下、ヘヤ）、コウズケカブリダニ（同、コウズケ）、キイカブリダニ（同、キイ）、ミチノクカブリダニ（同、ミチノク）、ラデマツヘルカブリダニ、ニセラーゴカブリダニ、サイタマカブリダニ（同、サイタマ）の7種でした（図1）。

上記のうち5種のカブリダニ類にミナミキイロアザミウマ1齢幼虫を与えた場合の1日当たりの捕食頭数/産卵数は、ヘヤ：1.6頭/0.4卵、コウズケ：1.2頭/0.7卵、キイ：9.9頭/5.2卵、ミチノク：4.0頭/1.3卵、サイタマ：2.8頭/0.5卵でした。一方、アザミウマ類に対する生物農薬として市販されているククメリスカブリダニの捕食量/産卵数は3.6頭/1.2卵でした（表1）。

これらの結果より、捕食量、産卵数の多いキイカブリダニ（写真1、表紙掲載）と発生頻度の高いヘヤカ

ブリダニ（写真2、表紙掲載）がアザミウマ類の土着天敵として有望であると考えられました。

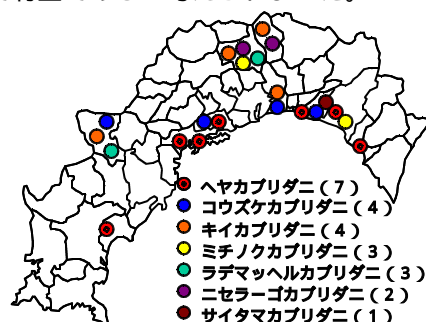


図1 カブリダニ類の確認地点
延べ30ほ場について調査。()は発生箇所数

表1 ミナミキイロアザミウマ幼虫に対する
カブリダニ類の捕食量および産卵数

種名	捕食頭数	産卵数
ヘヤカブリダニ	1.6	0.4
ミチノクカブリダニ	4.0	1.3
キイカブリダニ	9.9	5.2
コウズケカブリダニ	1.2	0.7
サイタマカブリダニ	2.8	0.5
ククメリスカブリダニ	3.6	1.2

注) 数値は1日当たり(3日間の平均値)。

[昆虫科 古味一洋]